

私的年金としてのマンション経営

Private pension plan

ゆとりのある老後を実現させるために、あなたが受け取れる年金の額は？

平成18年度の厚生労働省の調査によると、日本の男性の平均寿命は79.0歳、女性は85.81歳と報告されています。60歳で定年を迎えたとしても、約20年以上平均余命があります。また、生命保険文化センターの調査によると、60歳以上の夫婦が旅行や外出に出かけたり・・・と、ゆとりのある生活を過ごすには、月38万円、最低限の生活を送るにも月25万円が必要と報告されています。60歳で会社を定年退職し、80歳までご夫婦がゆとりのある生活を送るとすると、最低でも9,120万円。最低限の生活を送るにも6,000万円が必要となるのです。しかし、現在支給されている厚生年金は会社員で月23.2万円、自営業者に支給される国民年金は月にわずか13.2万円しかありません。

厚生年金支給額

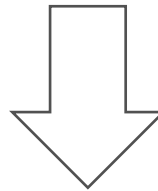
夫婦2人分の基礎年金
を含む標準的な年金額

月間232,592円

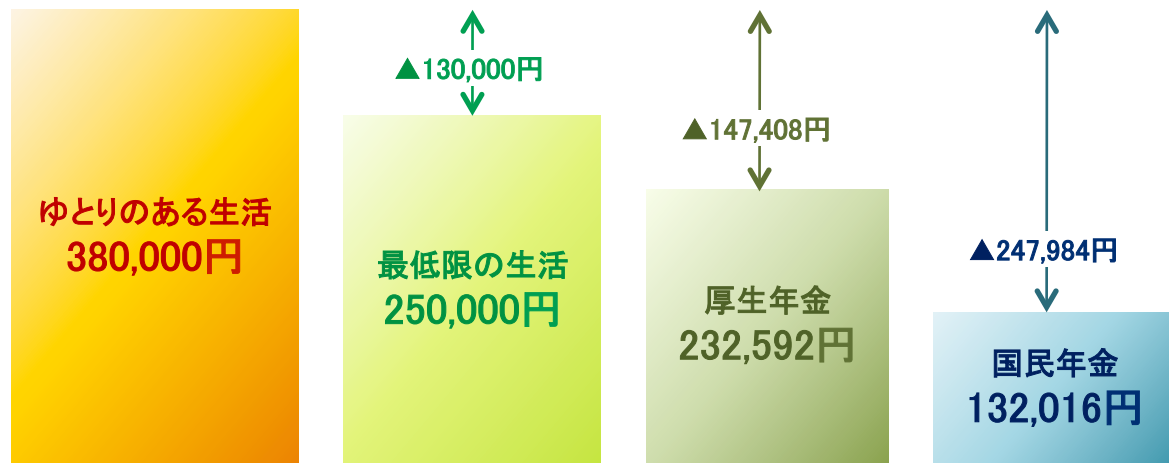
国民年金支給額

老齢基礎年金：夫婦2人分

月間132,016円



出典：厚生労働省
「平成19年後の年金額について」



公的年金では最低限度の生活費すら保証されません！

※注）厚生年金は、夫が平均収入（平均標準報酬36.0万円）で40年間就業し、妻がその期間全て専業主婦であった世帯の新規裁定の給付水準

不足分を補う家賃収入は「第2の給与」

ローンで購入した場合、大半は家賃収入で賄っていくため、月々の負担はごくわずかです。ローン完済後は家賃収入がそのまま私的年金となるのです。家賃収入はインフレにも強く、長期に渡り受け取れるため、言い換えるならば、「第2の給与」であり、効果的な資産運用方法であるのです。